平成24年度　事務事業評価シート

※平成23年度に実施した事業を評価しています

事務事業名称	なぐわし公園整備													継続	
コード	62	－	23	－	03	－	00	予算事業名	なぐわし公園整備						
担当部署	都市計画部		公園整備課			なぐわし公園整備		予算事業コード	会計	10	款	08	項	04	目 05

1. 事業の位置付けと関連計画等

第三次川越市総合計画後期基本計画における位置付け　位置付けなしの場合

法令による実施義務　義務ではない

基本目標(章)	3章	人と環境にやさしい、快適な基盤を備えた魅力あるまち	根拠となる法令、条例等	都市公園法 川越市都市公園条例
方向性(節)	3節	自然と調和した基盤づくり		
施策	5	公園の整備と充実	個別計画等の名称	川越市都市計画マスタープラン、川越市緑の基本計画、なぐわし公園基本計画
細施策	5	レクリエーション・スポーツ拠点の整備		

2. 事業の目的と概要

事業の目的 (誰・何を対象に、何のために実施するのか)	子どもから高齢者までが利用できるレクリエーションの場として、温水利用型健康運動施設を含むなぐわし公園の整備を推進する。
事業の概要 (活動内容、実施手段・方法など)	都市計画公園8．3haの内2．1haの温水利用型健康運動施設と駐車場部分については、H22からPFI手法を用いて設計、建設を行いH24．8月から維持管理、運営を開始する。残りの6．2haの公園部分(多目的グラウンド、芝生広場、修景池、健康交流広場)については従来手法により設計、整備を行う。

3. 実施にかかるコストと実績

(単位:千円)

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
予算額		39,339	1,627,883	181,771	1,075,646	917,204	
事業費	A	21,219	1,614,592	74,970	1,065,250	917,204	1,311,423
人件費	B	29,600	29,600	44,400	29,600	29,600	29,600
総コスト(C＝A＋B)		50,819	1,644,192	119,370	1,094,850	946,804	1,341,023
正規職員(1年間の従事人数)		4.00人	4.00人	6.00人	4.00人	4.00人	4.00人
臨時職員(1年間の従事人数)							
国県支出金	D	0	183,000	0	431,000	296,000	123,000
その他特定財源	E	0	0	0	0	0	0
市の財政負担(＝C－D－E)		50,819	1,461,192	119,370	663,850	650,804	1,218,023

※24年度、25年度の事業費、人件費は見込額
※臨時職員の給与も、人件費に含みます。

4. 成果指標・活動指標による分析

成果	:中心指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	指標の定義
成果	取得用地面積	㎡	0.0	22,526.8	0.0	0.0	都市計画決定された8．3haの内、買戻しを行った面積
成果	公園整備面積	㎡	0.0	0.0	0.0	0.0	公園整備を実施、都市公園として供用開始し、市民に開放した面積
活動	委員会開催回数	回	2	3	2	2	なぐわし公園建設委員会とPFI審査委員会の開催回数
活動	地元自治会会議等回数	回	4	2	2	3	地元自治会等への説明および会議の合計回数

中心指標の考え方	本事業は、成果指標を中心に評価する。
指標に基づく評価	第1基事業については、計画に基づき順調に事業を進めており、H24．8月に公園の一部を供用開始する。

5. 事業の実施を通じた分析・評価

(1) 現在の課題と状況　課題はない

第1期事業(2．1ha)については、H22に締結したPFI事業契約に基づきH24．8月に温水利用型健康運動施設を供用開始する。供用開始以降、毎年、維持管理・運営に伴う委託料等に約3億円要する。また、第2期事業(6．2ha)の事業用地買戻しに約30億円、公園施設の整備に約10億円必要となる。

(2) 比較参考値(他市での類似事業の例など)

(3) 事業を廃止・縮小したときの影響

川越市土地開発公社が先行取得した事業用地の買戻しが滞り、活用できない土地の維持管理費が今後も必要となる。
市北部の防災拠点として計画した防災機能の一部を活用できない。

(4) **所属長自己評価(今後の方向性)**　**継続**

第1期事業についてはPFI事業により順調に進められ平成24年8月にオープンを迎える。開園後の運営管理が適正に行われるようモニタリングしていく。一方、地域住民の関心が高い第2期事業についても財源確保策を検討しつつ引き続き整備を進めていく必要がある。